

10月12日 馬場（馬場老人憩の家にて）

<主なやりとりと対応状況>

* 対応状況は矢印⇒です。

- こどもの公園整備について、馬場公園で防犯活動のため、監視カメラを要望したが、進捗状況が見えていない。公園の木が伐採され、日陰がなくなり、こどもたちが遊ばなくなった。暑い時のために日陰を作れないものか。地面に埋まっている電線がむき出しになっているので、進入禁止にはなっているが、早急に対処してほしい。
⇒ 防犯カメラは各地区からも要望があり、来年度予算で増やす方向で検討しています。馬場公園の日陰の問題については、公園に植樹して木陰を増やす方向で検討しています。電線がむき出しの部分については、埋戻し工事を行いました。
- ファミリーマートから星槎学園の付近に市街化調整区域で住宅と農地が混在する地域がある。高齢化が進み、生産農家は2件ほどで残りは自作農家または管理者がいない。農家の状況が非常に良くなり、調整区域の見直しを行ってほしい。市街化区域への編入のためには、国勢調査で人口集中地区になる必要がある。人口集中地区となるために、町としての助言や協力をいただきたい。
⇒ 市街化調整区域は県でかなり見直しをしていますが、大磯町は今のところ人口増が見込めないということで申請が難しい状況です。調整区域の中でも地区計画を作れば様々な規制の除外ができるため、現在、富士見地区で地区計画の作成を進めています。馬場地区でも地区計画を進めたいということであれば、都市計画課の職員による説明会を行います。また、地権者合意などについても、町で支援していきます。
- 通いの場について、4万8千円の補助を今年からもらえる。馬場地区では、16団体と活動している団体が多い。地区によって参加者数に格差があり、この開きを少なくする取組みは、町として考えているのか。
⇒ 現在11地区で通いの場を行っており、早い段階で24地区で行うように推進を図ります。馬場地区では16団体が活動しているとのことですが、今年度は馬場地区の通いの場としては4万8千円の補助になります。しかし、通いの場に通ってもらう人数を増やすことも重要であり、来年度については、補助の出し方の見直しを検討しています。
- 自宅の裏の木の状態が良くない状態になっており、木が伸び放題で我が家の敷地内に入って来ている。このような相談事について、福祉センターさざれ石はどのくらい面倒を見てくれるのか。
⇒ こちらの自宅の前は町道ですので、道路課から樹木の適切な管理をお願いしています。

- 役場の建て替えでかなり借金を抱えるが、その財源について、工場を作るなどの考えはないのか。
- ⇒ 地方自治体の財政は、税収が増えると地方交付税が減少する仕組みとなっています。税収が増えても町民サービスをよくするための財源はなかなか増えませんので、ふるさと納税などで寄附金を集めた方が、町民サービス向上のための財源確保につながります。工場誘致は、まず雇用確保の面から重要ですが、ふるさと納税の返礼品にできる工場の誘致が出来ると、雇用と財源の二つを生み出すことができますので、そうした方向で努力しています。

以上